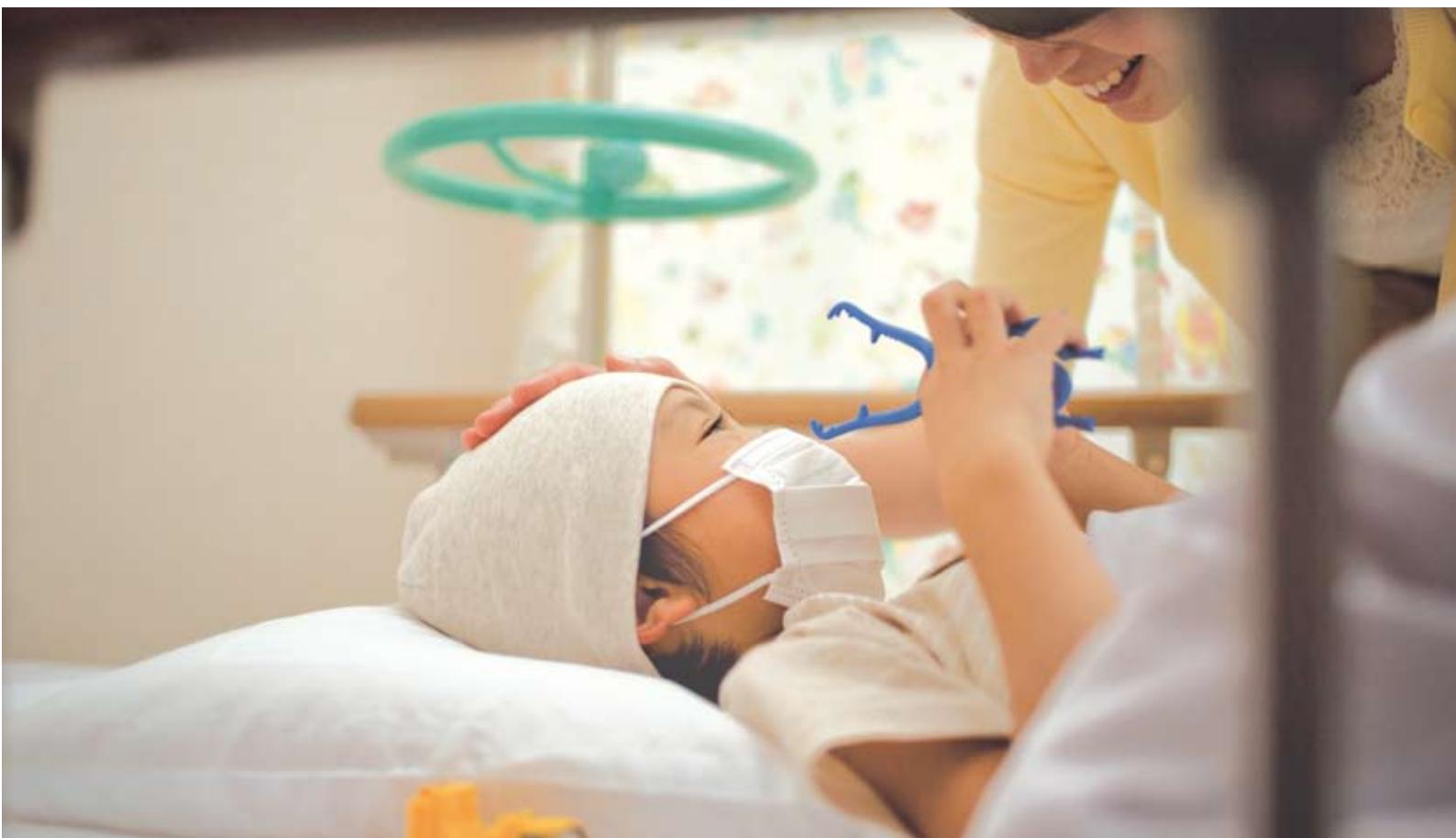


Donald McDonald House Charities Japan

Annual Report 2013

2013年 年間報告書



財団設立の趣旨

現在、難病に苦しむ子どもの数は全国で20万人に及んでおり、その難病の子どもを持つ家族まで数えると、悩んでいる人はその数倍もいることでしょう。これらの家族は、子どもが入院すると、自宅と入院先との二重生活による経済的な負担、家族が離れて暮らす精神的苦痛など、大きな負担に悩まされることになります。

このような家族を少しでも支援するために、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンは設立され、子どもが入院する病院の近くに家族が安心してくつろげる滞在施設を建設し、ボランティアによって運営するという活動をしています。ドナルド・マクドナルド・ハウスは世界的な広がりを持つ活動で、現在、世界には300以上のハウスがあります。

以上のように、この公益財団は、患者家族の負担を社会全体で支援する仕組みづくりに寄与することを目的としているのです。



財団の概要

名 称： 公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

所 在 地： 東京都新宿区西新宿6丁目5番1号 新宿アイランドタワー39階

目 的： 本財団は、難病およびその家族等を支援する福祉、医療分野等におけるボランティアへの助成並びにその家族等に対し必要な施設の設置等の措置を講じ、その有効適切な運営を行うこと等により、もって地域社会における支援体制の確立に寄与することを目的とする。

事 業： ①難病児及びその家族等を支援する福祉、医療分野等におけるボランティアへの助成事業
②福祉、医療分野等におけるボランティアの国際交流、国内外研修にかかる助成事業
③前号におけるボランティア活動を振興するための普及啓発事業
④難病児及びその家族等のための滞在施設の設置、運営及び助成
⑤その他前条の目的を達成するために必要と認める事業

設 立： 平成11年4月1日

行 政 庁： 内閣府

1	公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンについて Donald McDonald House Charities Japan
2	目次 Contents
3	ご家族からの手紙 Letter from The Family
5	祝辞 Special Message
6	ご挨拶 Message
9	全国のハウス紹介 House information
18	ボランティア活動 Volunteer Activities
19	トピックス Topics
27	「ふくおかハウス」まもなくオープン Donald McDonald House Fukuoka will open
29	助成事業および国際交流、国内外研修派遣事業 Grant & International Exchange Programs
30	応援メッセージ Messages from Supporters
31	家族からのメッセージ Messages from Families
33	決算報告 Financial Report
36	役員・選考委員名簿 Board of Directors, Councilors and Selection Members
37	サポーター紹介 Supporters



ご家族からの手紙

石山恵子さんと4歳の三女・凜ちゃんは、手術や検査のため、たびたび熊本から上京しています。都立小児総合医療センターに入院する際は必ずふ・ちゅうハウスをご利用されるという、恵子さんからのお手紙をご紹介します。



石山 恵子さん

娘:凜ちゃん



熊本のお祭での家族写真



初めての「ドナルド・マクドナルド・ハウス ふ・ちゅう」

凜ちゃんの
歩み



2009年8月14日
3,135グラムで元気に誕生しました



NICUの窓越しに、
姉達と初めての写真撮影



大阪の病院での手術
おしつこの管が取れました

非常にまれな障がいを持って生まれた娘。

凜はおなかの中にいる時から「腎臓に何らかの障がいがある」と言われていました。出産してみると、やはり排泄機能にいくつかの障がいがあり、生まれたその日に緊急手術を受けることに。凜の障がいは非常にまれで、またいくつもの診療科にまたがっているために、熊本では総合的に診てくれる病院がありませんでした。継続して診察してもらえる病院を探して、1年後にやっと見つかったのが都立小児総合医療センターでした。この病院では泌尿器科、外科、脳神経外科など、いろいろな診療科の先生に診てもらえるので、とても安心できます。

心身の疲れをリセットできる「ハウス」。

ハウスはボランティアの方々いつもきれいに掃除してくださって、とても快適です。個室も十分な広さがあり、ゆったりくつろげます。私は朝9時半ごろに病院へ行き、一日中付き添って、凜が眠ったあと夜9時頃にハウスに帰っています。夜はもうクタクタで、ゆっくり眠れるベッドとお風呂があるので助かります。

朝は「いってらっしゃい」、帰りは「お帰りなさい」。ボランティアさんにこう声をかけてもらえるだけで、自分一人ではないんだと気持ちが楽になります。夜などは時々、他の利用者の方とお話しすることもあります。同じ悩みを抱える仲間として思いを聞いたり聞いたりもったり、また同じような病気を持つ方にはこの先の手術や治療の経過などの情報をいただくこともあります。



一人でも多くの方にハウスの存在を伝えたい!

凜の入院中は、長女と次女は私の実家でお留守番。入院が長期にわたることもあるので、お姉ちゃんたちには「いつも寂しい思いをさせてごめんね、でもありがとう」という気持ちでいっぱいです。

一度、家族みんなで上京し、ハウスに3~4泊したことがあります。きれいでなお部屋に子どもたちは大喜び。ゆったりと家族の時間を過ごすことができました。凜も体調がいい時は外泊許可をもらって、ハウスに泊まることがあります。凜はおもちゃや絵本がたくさんあるこのハウスが大好き。上京する時も、「ハウスに行くんだね」と機嫌よく付いてくれるので、とても助かります。

私は始めの入院からハウスを利用していますが、まだハウスのことを知らない人や、近くに住んでる人は利用できないと思っている人も多いようです。熊本に戻ったら、より多くの人にハウスを知つてもらうために、まずは私の周りの人にハウスの存在を紹介していきたいと思います。そして、少しでも多くの支援が集まるように願っています。



石山 恵子



Health, Labor and Welfare Ministry

Minister

Norihisa Tamura

厚生労働大臣 田村 憲久

財団設立15周年をお祝いして

わが国的小児保健医療の水準は、世界に誇るべきものであります。その一方で、少子化に歯止めはかからず超少子化の道をたどっております。さらに子どもたちの心身の健康についても、難病の長期的継続的ケアなど、課題が山積しており、また、心の問題や子どもへの虐待の増加などが深刻な社会問題になっています。国が持続的に発展し世界に貢献していくためには、未来を担う子どもたちの心身ともに健やかな成長こそが重要です。

これらの問題の解決策の一環といたしまして昨年度は小児がんの対策として全国に15の拠点病院を選定し、全国に分散する症例を集約化しより質の高い医療を効率的に提供しようという施策を打ち出しました。小児がん撲滅の大きな力になるものと期待しております。

小児医療は病気になったお子様への医療に加え、ご家族への支援が重要なことは言うまでもありません。この分野でドナルド・マクドナルド・ハウスの活動が医療提供者だけでは手が届かない部分をカバーし医療に厚みを持たせてくださっていること感謝に堪えません。平成13年に国立成育医療研究センターに1号目のハウスを開設され、その後多くの小児病院で患者ご家族を支援して下さっています。その功績により平成17年の「おおさか・すいたハウス」オープン時には当時の尾辻大臣がオープニングセレモニーに出席し感謝状をお渡しておられました。平成21年には財団設立10年を記念してその継続的活動に対して2度目の感謝状を授与させていただきました。設立15年が経過した今10番目のハウスを福岡に計画されていると伺っています。今後とも小児医療を支える為に医療と社会を繋ぐ懸け橋となって頂く事を祈念してやみません。

While Japan's standard of children's health care should be something to be boasted of in the world, the number of children here has not stopped declining, and we are heading for a society with extremely few children. As to their physical and mental health, too, there have been problems piling up including long-term, continuous care of intractable diseases. Children's psychological issues in addition to the increasing incidence of abuse have come to pose serious social problems. It is important that children as one to shoulder the future grow healthily both mentally and physically, so that the nation continues to develop and contribute to the world.

As part of the solutions to such problems, 15 hospitals nationwide were chosen in the last fiscal year as the bases to combat pediatric cancer. The cases that have been scattered around the country will be gathered there and provided with higher-quality treatment more efficiently as part of the initiative. We have high hopes for this step proving to be a significant help to eradicate pediatric cancer.

Meanwhile, in such cases of pediatric care, support for the family is obviously important, too, in addition to the medical treatment for the young patients. In that aspect, Donald McDonald House's work makes up for the part the medical profession cannot solely fulfill. I cannot thank enough for the charity's adding extra dimensions to the general health care. Since the charity opened its first House in the National Center for Child Health and Development in 2001, the charity has supported patients and families with a number of children's hospitals. As a result of such valuable contribution, then Health Minister H. Otsuji attended the opening ceremony of the DMH Osaka-Suita in 2005 and presented a letter of appreciation. In 2009, the second letter was given in appreciation of the foundation's continued activities on the occasion of its 10-year anniversary. Now after 15 years since the establishment, I hear the 10th DMH has been in progress in Fukuoka. I earnestly hope that DMHC persists with its great work bridging the gap between the medical world and the society in order to assist the pediatric medicine.



Donald McDonald House
Charities Japan

Chairman

Masayoshi Yanagisawa

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・
ハウス・チャリティーズ・ジャパン

理事長

柳澤 正義

我々のハウス事業が始まって15年になります。一人でも多くの病気の子どもたちとそのご家族のためにという意気込みで、ハウスの整備を進めてまいりました。2013年11月に9番目のハウスとなる「ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや」をオープンしました。最初のハウスである「せたがやハウス」のオープン以来、延べ30,333家族を支援してきました。また10番目のハウスが福岡にオープンする予定となっており、11番目、12番目と建設設計画は続行中です。

厚生労働省は、2013年、全国に15の小児がん拠点病院を選定して、小児がん医療の集約化と質の向上を目指しています。また、2014年には、慢性疾患や難病を持っている子どもたちとその家族の支援について、従来の小児慢性特定疾患に関する制度の見直しを行い、医療財源の安定を図ろうとしています。このような国の動きの中で、当財団が推進してきた取り組みは大きな役割を果たしてきたと自負しています。このような活動に対して、厚生労働大臣から2005年と2009年の2度にわたり感謝状を授与され、今回は15周年に対するコメントも頂戴いたしました。

社会が医療を支えるこの事業は、少しずつ輪を広げ、認識も深まりつつあります。医療側からも熱い期待を寄せられ、小児医療における重要性も増しております。しかし、ハウスの日常の運営は多くのボランティアさんの力に支えられているとはいえ、ハウスを整備し運営していくには多額の費用を必要とします。日本マクドナルド株式会社をはじめ、多くの企業からのご寄付、マクドナルドの店舗内の募金箱に入れてくださる善意に心からの感謝を申し上げるとともに、ハウスを必要としている多くの子どもたちとそのご家族のために力強い寄付文化が育つことを願っております。

It has been 15 years since we started DMH's operation in Japan. We have promoted the development of DMHs with determination to help as many sick children as possible and their families. We opened DMH Nagoya, the 9th House in Japan, in November 2013 and have supported a total of 30,333 families since the opening of the 1st House in Japan, DMH Setagaya. Now the 10th DMH is scheduled to open in Fukuoka and plans to build the 11th and 12th Houses are also in progress.

In 2013, Japan's Ministry of Health, Labour and Welfare selected 15 hospitals in Japan as hubs for pediatric cancer treatment for intensive pediatric cancer care and enhancement of the quality of the care. In 2014 the ministry is reviewing the existing system to support children suffering from chronic pediatric diseases of specified categories or serious diseases and their families to secure stable funding. I take pride in the fact that activities promoted by our foundation have played key roles in the governments these initiatives. The then Minister of Health, Labour and Welfare presented us with a letter of commendation for our activities in 2005 and 2009 and the present minister provided a comment to celebrate our 15th anniversary.

This charity project in which the society supports medical care has been expanding its circle little by little and gaining public recognition. The medical profession places great expectations on the project and its importance in pediatric care has been increasing. While the daily operation of DMH is supported by many volunteers, it costs a great deal of money to develop and operate DMHs. I would like to express my sincere gratitude to contributions from many companies including McDonald's Japan and goodwill donations given in donation boxes at McDonald's restaurants and hope a strong culture of donation to be established for many children and their families who need DMH.



Donald McDonald House
Charities Japan
Chief Executive Director
Osamu Hirose

公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン
専務理事

廣瀬 修

私たちの財団はグローバルチャリティーであり、世界各国で病気の子どもたちとその家族を支援する活動が行われています。「ドナルド・マクドナルド・ハウス」は世界35カ国にまで広がっております。さらに病棟の中で付き添い家族に休息の場を提供する「ドナルド・マクドナルド・ファミリールーム」が200以上に数が増え、私たちはさまざまな形で困難な状況下にある子どもたちを支援しています。日本でもこの10年で急速に成長を遂げ、国内で運営されている9ハウスが非常に高い評価を受け、世界の中でも大きな存在となって参りました。

昨年、国内9号目として誕生したハウスは名大病院の先生方が中心となって積極的に寄付を集め、まさに地元の皆様にとっては念願のハウス誕生となりました。開設後はボランティアとして多くの方がハウスを支援してくださいました。地元に愛されるハウスとなっております。この手法を継承しているのがこれから開設される「ふくおかハウス」です。名古屋と同じように熱意ある病院関係者そして地方自治体の皆様が一丸となって寄付集めに取り組んでいます。医療関係者、地域の皆様そして私たちが一体となって「ハウスオープン」の目標に向かうこの形こそ、欧米のハウス開設時によく見られる光景で、日本もいよいよ欧米に似てきたなど実感しております。

私はこれまでにいろんな団体を支援し、文化活動そして福祉の支援に携わってまいりました。ドナルド・マクドナルド・ハウス財団のこの事業も尊いライフワークの一部と感じております。これからも微力ではありますが困難な状況の子ども達のために精一杯頑張ってまいります。

今までご協力ご支援いただいた多くの皆様に厚くお礼を申し上げるとともに、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

Donald McDonald House Charities is a global charity that conducts activities to support sick children and their families all over the world. DMH now operate in 35 countries and more than 200 Ronald McDonald Family Rooms are available as a space to rest for families attending on their sick children in hospital wards. We are supporting children having hard time in various forms. The organization has grown rapidly in the past 10 years also in Japan, and 9 Houses currently operating in the country have been highly evaluated and has become a key player in the world.

Last year the 9th House in Japan, which has been long awaited by local people, opened with aggressive efforts of supporters including doctors of Nagoya University Hospital who played a central role in collecting donations for the birth of DMH. DMH has been beloved by the local community and operated with generous support of many volunteers since its opening. The next DMH will be opened and operated in Fukuoka with the same approach. Like the DMH Nagoya, enthusiastic hospital staffs and local community members are working as one team to raise funds for DMH Fukuoka. Medical staff, local people and DMHC staff working together for the opening of DMH is a common approach used for the development of Houses in Europe and the United States, and I realize Japan is getting closer to them in this regard.

I have helped many organizations and been involved in activities to assist cultural activities and welfare. I feel this DMHC project is also one of my valuable lifeworks. I will continue to do my best for children suffering hardship.

I would like to extend my sincere gratitude to people who have extended to the charity and would greatly appreciate their continuous support and assistance.



Fukuoka Children's Hospital &
Medical Center for Infectious Diseases
Fukuoka City Hospital Organization
Director
Junichiro Fukushige

地方独立行政法人福岡市立病院機構
福岡市立こども病院・感染症センター
院長

福重 淳一郎

念願の新福岡市立こども病院は、2014年11月の開院を目指して整備中ですが、その敷地内に、九州初、日本で10番目となる「ふくおかハウス」が開設されることとなり、言葉で表せないほど嬉しい思っております。これも偏に、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンの皆様をはじめ、関係の皆様方のご尽力によるものと、心より御礼申しあげます。

現福岡市立こども病院・感染症センターは、昭和55年に開院以来、小児の高度専門医療機関として、広く九州・西日本一円から多くの病気のお子さん方を迎えておりますが、新病院ではこれまで培ってきた豊富な臨床経験と高い専門性を継承するとともに、小児医療・周産期医療の更なる充実を図ってまいります。

私どものような小児医療の現場におきましては、病気で受診されるお子さん方やそのご家族を受け入れる環境を整えることが必要不可欠であり、ご家族の精神的・経済的負担を軽減し、闘病中のお子さんを近くで見守りながらの滞在が可能となる「ふくおかハウス」は大変大きな心の支えとなります。

地元福岡におきましても、経済、行政、医療、スポーツ、市民団体等の各方面で活躍中の皆様方のご理解、ご支援により、昨年5月に「ふくおかハウス」建設募金委員会を組織していただき、福岡・九州一円を中心に広く寄付をお願いいたしているところです。

これまでにご協力いただいた皆様方に厚く御礼申し上げますとともに、ハウスへの今後のご支援、ご高配を重ねてお願いいたしたいと存じております。

ここ福岡の地で、「ふくおかハウス」がボランティア文化を根付かせ、国内外のハウスと同様に、病気と闘う子ども達とそのご家族の方々にとって、明るい希望を持ちながら滞在していただける素晴らしいハウスとなりますよう切に願っております。

While the new long-awaited Fukuoka Children's Hospital is still under construction to open in November 2014, it is ineffable pleasure to see the 1st DMH in Kyushu and the 10th House in Japan, "DMH Fukuoka", will open in the hospital's premises. I would like to express my sincere gratitude to the staff of DMHC and other people involved for their continuing efforts and support in the development of the House,

The existing Fukuoka Children's Hospital & Medical Center for Infectious Diseases has provided medical treatment many sick children from Kyushu and the entire West Japan as a highly-specialized hospital for children since its opening in 1980. The new hospital will take over abundant clinical experience and outstanding expertise developed by the existing hospital and further enhance pediatric care and perinatal care.

It is essential to create an environment to accept sick children visiting our hospital for medical treatment and their families in such hospital setting as ours. DMH Fukuoka which will reduce mental and financial burdens on these families and enable them to stay close to and take care of their sick children will provide great emotional support to the families.

In Fukuoka, a fund-raising committee for the construction of DMH was established in May 2013 with the understanding and support of people active in various quarters including economy, government, medical care, sports and citizens' groups, and has been soliciting donations extensively, centering around Kyushu and entire west Japan.

I am most grateful to all people who have extended cooperation to us and would appreciate their continuing assistance and courtesies to DMH.

I truly wish the DMH Fukuoka will have a volunteer culture take root in Fukuoka and become a wonderful House where sick children and their families stay with bright hope, like the other DMHs in Japan and abroad.



9

ドナルド・マクドナルド・ハウスの利用状況



ドナルド・マクドナルド・ハウス
せたがや

〒157-0074 東京都世田谷区大蔵2-10-10
Tel. 03-5494-5534 Fax. 03-3749-2267

施設概要

2001年12月に誕生した国内第1号の「せたがやハウス」国立成育医療研究センターに隣接して建てられました。小児ベッド数が460床ある国立成育医療研究センターには、全国各地から患者が入院または通院しています。

ハウス情報

- 延べ床面積: 1,744.29m²
- 規模: 地上4階建て、地下1階
- ベッドルーム数: 21室

•Message•

「せたがやハウス」はセンターが開設されてから今日までずっと、多くの子どもたちやご家族を支えて下さっています。大変厳しい治療に立ち向かうとき、ご家族が安心して病院のそばにいられる場所があること、そして何より不安を抱えたご家族を温かく迎えてくれるボランティアの方々がいて、時には同じ思いをしている他のご家族に出会い勇気をもらえることがどれだけ大切なことか。センターの感謝の気持ちを伝えるために、今年の東京マラソンで職員4人がチャリティーランに挑戦しました。仲間がマラソンを通じてチャリティを呼びかけることにより改めてセンター全体がパートナーとしてのマクドナルドハウスへ思いを寄せる機会になりました。今後ともよろしくお願ひいたします。

国立成育医療研究センター 企画戦略室長
山本 尚子

収支報告 (単位:円)

▼収入	▼支出
利用料 10,835,000	給料手当 9,877,424
寄付金収入 2,163,594	水道光熱費 7,975,257
会費収入 1,277,000	租税公課 4,646,100
その他 128,292	その他 4,809,894
財団補助額 12,904,789	
合計 27,308,675	合計 27,308,675

2013年実績

- 利用家族数: 843家族 ■ 総宿泊数: 6,663泊
- 平均滞在日数: 7.9日 ■ ボランティア登録者数: 161名
- ボランティア活動時間数: 13,784時間

10



ドナルド・マクドナルド・ハウス せんだい

〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合4-5-3
Tel. 022-391-1233 Fax. 022-392-5535

施設概要

2003年11月に誕生した国内第2号の「せんだいハウス」は宮城県立こども病院のそばに建てられました。こども病院は160床あり、ハウスは主に東北地方からの患者家族が利用しています。

ハウス情報

- 延べ床面積:1,679.36m²
- 規模:共有棟(平屋建て)、宿泊棟(2階建て)
- ベッドルーム数:16室



•Message•

「せんだいハウス」は、病気と闘い心細い気持ちになっている子どもたちと、ご家族を温かく支える「第2のわが家」として、仙台に誕生して10年となり、この間、東日本大震災という未曾有の災害を経験しながらも、多くの子どもたちを見守り続けていただいております。

これからも、多くの方々のご協力により、将来を担う子どもたちが、元気と笑顔を取り戻すことができますことを期待しております。

仙台市 市長
奥山 恵美子



ドナルド・マクドナルド・ハウス こうち

〒781-0111 高知県高知市池953-10
Tel. 088-837-3650 Fax. 088-837-3652

施設概要

2005年2月に誕生した国内第3号の「こうちハウス」は同時期に開院した高知医療センターのそばに建てられました。高知医療センター内には母子医療センターがあり、ハウスには小児の患者家族が滞在しています。

ハウス情報

- 延べ床面積:1,180.72m²
- 規模:平屋建て
- ベッドルーム数:16室



•Message•

高知県は東西に長く、交通網の整備も不十分なため、病院まで通うのは大きな苦労を伴います。「ドナルド・マクドナルドハウス こうち」ができたおかげで入院される患者はもちろん、付き添う家族の負担が大きく減りました。これからもっと県民への認知を高めることで、ハウスの利用が増え、ご家族の笑顔が増えていきます。私たちもさまざまな方法でPRを進め、応援いたします。

宮地電機株式会社 代表取締役社長
宮地 貴嗣



収支報告 (単位:円)

▼収入	▼支出
利用料 5,107,000	給料手当 8,959,891
寄付金収入 3,539,991	水道光熱費 7,085,967
会費収入 1,158,000	租税公課 1,694,000
その他 377,069	その他 5,029,411
財団補助額 12,587,209	
合計 22,769,269	合計 22,769,269

2013年実績

- 利用家族数:1,142家族 ■総宿泊数:3,347泊
- 平均滞在日数:2.9日 ■ボランティア登録者数:194名
- ボランティア活動時間数:15,969時間

収支報告 (単位:円)

2013年実績

▼収入	▼支出
利用料 1,193,000	給料手当 7,889,161
寄付金収入 1,646,572	水道光熱費 3,050,409
会費収入 612,000	租税公課 134,300
その他 84,607	その他 4,183,249
財団補助額 11,720,940	
合計 15,257,119	合計 15,257,119

- 利用家族数:294家族 ■総宿泊数:875泊
- 平均滞在日数:2.9日 ■ボランティア登録者数:100名
- ボランティア活動時間数:11,186時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス

おおさか・すいた

〒565-0875 大阪府吹田市青山台4-31-20

Tel. 06-6836-6551 Fax. 06-6831-7611

施設概要

2005年10月に誕生しました国内4号の「おおさか・すいたハウス」は、国立循環器病研究センターの向かい側に建てられました。国立循環器病研究センターは小児病院ではありませんが、全国から心臓病の患児が入院または通院に来ています。入院患者の家族の宿泊場所がなく困っていたことから病院および自治体からハウス建設の依頼を受け、ハウス建設が実現しました。

ハウス情報

- 延べ床面積: 1,292.88m²
- 規模: 共有棟(平屋建て)、宿泊棟(2階建て)
- ベッドルーム数: 18室

•Message•

「おおさか・すいたハウス」は国立循環器病研究センター病院の斜め前になります。ハウスを利用される患者さんとそのご家族にとって、ハウスのぬくもりは母の懐のように代えがたいものとして精神的、肉体的試練に耐える力を与えてくれています。また、病院は常に見えているが、少し歩いてゆかねばならないという、この距離感が患者さんとご家族にとって安心感と気持ちの切り替えにとても有効だと思っています。長年このような施設の無い環境で、脳神経外科医として多くの患者さんとご家族に接してきた経験からは、ハウスのスタッフやボランティアの方々の笑顔がとても眩しく見えます。厳しい医療の現場に光明を与えてくれる、そしてここに集う人たちの心を豊かにさせてくれるハウスです。運営母体であるドナルド・マクドナルド・ハウス財団に改めて敬意を表します。

国立循環器病研究センター 理事長・総長

橋本 信夫



収支報告 (単位:円)

▼収入	▼支出
利用料 7,937,000	給料手当 8,722,208
寄付金収入 2,807,782	水道光熱費 5,393,027
会費収入 1,208,000	租税公課 3,888,780
その他 1,301,836	その他 4,090,764
吹田市補助金 2,653,980	
財団補助額 6,186,181	
合計 22,094,779	合計 22,094,779

2013年実績

- 利用家族数: 731家族 ■ 総宿泊数: 5,921泊
- 平均滞在日数: 8.1日 ■ ボランティア登録者数: 126名
- ボランティア活動時間数: 14,718時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス

とちぎ

〒329-0434 栃木県下野市祇園2-36-3自治医大2号館3階

Tel. 0285-58-7551 Fax. 0285-44-4154

施設概要

2006年9月に誕生しました国内第5号の「とちぎハウス」は自治医大とちぎ子ども医療センターの向かい側に開設されました。とちぎハウスは、自治医科大学の建物の一部を無償でお借りし、県の補助金を使って大学側に内装整備していただいたニューモデルのハウスです。2013年には増室工事を行い、7室だったハウスが10室になりました。

ハウス情報

- 延べ床面積: 652.9m²
- 規模: 3階建ての3階部分
- ベッドルーム数: 10室



•Message•

2009年より、とちぎハウスの運営委員として、お手伝いをさせて頂いております。とちぎハウスは自治医科大学様や地元の皆様、ボランティアの皆様に多大なご支援を賜り、多くの病気と闘うご家族を支援して参りました。しかし部屋数が足りずお断りをする事が多く、心苦しく思っておりました。今回増室の計画が持ち上がり、微力ながら募金のお手伝いをさせていただきました。今後もマクドナルドオーナー会の皆様と共にサポートさせて頂きたいと思います。

株式会社オカダ 代表取締役

岡田 俊介



収支報告 (単位:円)

▼収入	▼支出
利用料 2,842,000	給料手当 8,394,915
寄付金収入 13,023,316	水道光熱費 2,155,573
会費収入 723,000	その他 11,837,818
その他 225,944	
運営費負担金 3,048,500	
財団補助額 2,525,546	
合計 22,388,306	合計 22,388,306

2013年実績

- 利用家族数: 340家族 ■ 総宿泊数: 2,056泊
- 平均滞在日数: 6.0日 ■ ボランティア登録者数: 259名
- ボランティア活動時間数: 15,497時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス さっぽろ

〒006-0041 北海道札幌市手稲区金山1条1丁目2-5
Tel. 011-688-4533 Fax. 011-691-8866

施設概要

2008年12月に誕生しました国内第6号の「さっぽろハウス」は北海道立子ども総合医療・療育センター（通称：コドモックル）の向かい側に開設されました。コドモックルは210床あり道内からの患者家族が利用しています。

ハウス情報

- 延べ床面積:994.2m²
- 規模:平屋建て
- ベッドルーム数:10室



•Message•

本校は、知的障がいの高等支援学校です。本校が仮校舎での開校時、すぐ目の前にドナルド・マクドナルド・ハウス さっぽろがあり、その時からのお付き合いとなります。現在は、新校舎が完成し少し遠方になりましたが、ハウスから依頼された記念コップの製作やハウス内の清掃活動などを通し、ハウススマネージャーをはじめボランティアの皆さんと交流を図っています。

障がいのある子どもたちにも優しく接していただいていることを喜んでおります。これからもどうぞよろしくお願いします。

北海道小樽高等支援学校 校長

菊地 孝司



ドナルド・マクドナルド・ハウス ふちゅう

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2丁目9-2
東京都立多摩・小児総合医療センター宿泊棟1階
Tel. 042-300-4181 Fax. 042-325-2266

施設概要

2010年3月、東京都府中市に日本第7号のふちゅうハウスがオープンしました。東京都立小児総合医療センターの隣接地に建てられたハウスは、東京都の宿舎棟の1階部分を無償でお借りし、12家族が滞在可能です。

ハウス情報

- 延べ床面積:688.3m²
- 規模:5階建ての1階部分
- ベッドルーム数:12室



•Message•

東京都立小児総合医療センターでは専門医療の一つとして先天性気管疾患に力を入れています。新生児期に呼吸困難で発症する難治性の疾患で、本院では搬送チームをつくり、出向いて安定した状態で搬送し治療しており、北海道から九州、さらに海外からの搬送例も経験しています。事前の搬送計画の中で必ず両親が安心して滞在できるハウスの情報提供をして連携をしています。到着時間が遅くなるときも親切に対応していただいています。このように、遠隔地から来て、治療に不安を抱える若いご両親にとり、ふちゅうハウスはほっと寛げる、精神的に回復できる場であると感謝しています。

東京都立小児総合医療センター 副院長

廣部 誠一



収支報告 (単位:円)

▼収入	▼支出
利用料 3,825,000	給料手当 7,944,236
寄付金収入 4,790,788	水道光熱費 3,983,839
会費収入 353,272	租税公課 1,126,200
その他 130,942	その他 3,188,164
財団補助額 7,142,437	
合計 16,242,439	合計 16,242,439

2013年実績

- 利用家族数:527家族 ■総宿泊数:2,477泊
- 平均滞在日数:4.7日 ■ボランティア登録者数:240名
- ボランティア活動時間数:15,792時間

収支報告 (単位:円)

▼収入	▼支出
利用料 3,989,000	給料手当 9,764,307
寄付金収入 2,369,218	租税公課 330,300
会費収入 249,000	その他 2,858,020
その他 487,760	
財団補助額 5,857,649	
合計 12,952,627	合計 12,952,627

2013年実績

- 利用家族数:361家族 ■総宿泊数:2,825泊
- 平均滞在日数:7.8日 ■ボランティア登録者数:129名
- ボランティア活動時間数:10,599時間



ドナルド・マクドナルド・ハウス

東大

住所:〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東大構内
Tel. 03-3812-9877 Fax. 03-2812-9688

施設概要

2011年12月、日本で最初のハウスが誕生して10年を記念して、東京大学構内に日本第8号の東大ハウスがオープンしました。東京大学医学部附属病院の隣接地に建てられたハウスは、4階建てで12家族が滞在可能です。

ハウス情報

- 延べ床面積: 974.64m²
- 規模: 4階建て
- ベッドルーム数: 12室



Message

今年も東大ハウスには大変にお世話になりました。入院してつらい思いをした大勢のお子さんの御家族がお世話になりましたが、無事に退院されてきっと今この瞬間に御自宅で笑顔を見せておられる方がいらっしゃいます。これもドナルド・マクドナルド・ハウスの関係者の皆様のおかげだと思います。皆様の温かい心遣いで病院での緊張がほぐされ、病気と闘う活力を充填することができたこと思います。東大ハウスは利用者も増えてきておりますが、今後もよろしくお願ひいたします。

東京大学医学部附属病院 小児科教授

岡 明



収支報告 (単位:円)

▼収入	▼支出
利用料 4,228,000	給料手当 8,874,653
寄付金収入 2,095,834	水道光熱費 2,261,966
会費収入 516,000	租税公課 8,170,030
その他 339,825	その他 4,119,932
運営補助金 2,000,000	
財団補助額 14,246,922	
合計 23,426,581	合計 23,426,581

2013年実績

- 利用家族数: 351家族 ■総宿泊数: 2,805泊
- 平均滞在日数: 8.0日 ■ボランティア登録者数: 220名
- ボランティア活動時間数: 12,858時間

東大ハウス広報チーム

東大ハウス広報チームは、多くのメンバーが広報関係の仕事のプロとしてハウスの活動に参加しています。ミーティングを定期的に行い、ニュースレターの作成やイベントの企画などチームの活動を広げています。



チームせんだいハウス

チームせんだいハウスは東北福祉大と東北学院大の学生達で組織されている団体です。チャリティーイベントを企画したり、地域のイベントに参加したり、ハウスのPRと募金活動を行っています。若い力と新しいアイデアでせんだいハウスを盛り上げています。



栃木県立上三川高校

ハウス内でのボランティア活動以外に宇都宮餃子祭りの募金活動などハウス外の活動も積極的に行ってています。



Smile Heart

さっぽろハウスを利用した患者のお母さんが主となってハウスの趣旨に賛同してくれる方々を集め、さっぽろハウスサポートサークル「Smile Heart♥」を結成。地元の様々なイベントでの寄付・募金、告知活動をハウスと一緒に行い、継続的にハウスを支えています。



「第9号 ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや オープン」

11月27日(水)国内9号目となる「ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや」の開所式を行いました。開所式には名古屋大学の総長をはじめ、病院長、支援企業の皆様にご来場いただきました。祝賀会には、愛知県の大村秀章知事も駆けつけてください、お祝いの言葉を頂戴しました。またなごやハウス建設のために名大病院の松尾病院長(当時)が中心となって建設費を集め、「なごやハウス募金委員会」を立ち上げ、市民へ寄付の呼びかけを行い、1億6,800円もの寄付金の贈呈式も行いました。多くの皆様に支えられて完成したなごやハウスは名大病院に入院している子どもとその家族にご利用いただいています。

なごやハウス
OPEN



「とちぎハウス増室お披露目会」

7月19日(金)とちぎハウスの増室お披露目会が行われました。7室のベッドルームが常に満室でこれまで多くの家族が利用できなかつたことを受け、10室に増室する計画が持ち上がりました。増室に必要な費用を集めるために「とちぎハウス増室支援の会」を立ち上げ、代表世話人に下野市の広瀬寿雄市長、世話人に栃木県の福田富一県知事、三森県議会議長、高山下野市議会議長、自治医大とちぎ子ども医療センターの相原センター長が就任し、寄付の呼びかけを行ってくれました。総額1900万円もの寄付が集まり、増室工事が行われ夏休みより、多くの家族が滞在できるようになりました。



「Super Formula で募金活動」

全日本選手権スーパーフォーミュラーのドライバーであるリチャード・ブラッಡレー氏がドナルド・マクドナルド・ハウスのサポーターに就任しました。今シーズン第一戦の鈴鹿サーキットよりピットウォークの際に積極的にハウスの募金活動を行ってくれました。さらに、第2戦目からはマシンや自身のスーツにハウスのロゴマークを入れ、年間を通して継続的なハウスの告知と募金活動を行ってくれました。第3戦の富士スピードウェイのレースではサーキット場内に募金ブースを設置し、リチャード氏との御縁を作ってくれたAQロジスティクス社の社員の皆様が募金の呼びかけに参加してくれました。



「東京ドームに募金箱」

プロ野球の開幕とともに東京ドームでの巨人戦63試合にてドナルド・マクドナルド・ハウスの募金箱を東京ドーム内に設置していただきました。募金箱には高橋由伸選手のサインと「チカラをひとつに」のメッセージが書かれており、とても特別な募金箱となりました。試合中、オーロラビジョンにて高橋選手がハウスへの募金を呼びかける映像を流し多くの方に募金していただきました。またシーズンを通して巨人軍選手のホームラン1本につき1万円の寄付をいただき、さらに読売ジャイアンツ選手ユニフォームのチャリティオークションを実施してくださいり、寄付金の総額が3,108,690円になりました。



「Jリーグからのご支援」

Jリーグの社会貢献の一環としてドナルド・マクドナルド・ハウス チャリティオークションが実施されました。このオークションには約7,000人もの方が参加され200万円以上の募金が寄せられました。2014年1月14日(火)このチャリティオークションの売上目録の贈呈にJリーグを代表して川崎フロンターレ中村憲剛選手、FC東京の高橋秀人選手がせたがやハウスを訪問し、闘病中の患児とその家族と交流しました。



「チャリティーコンサート開催!」

5月24日(金)たくさんの方々のご協力により、こうちハウスを支援するチャリティーコンサートが開催されました。出演してくださったのは、地元高知の番組「じゃらん?!モーニング」のオープニングテーマでおなじみのアコースティックトリオ「Biscotti」。ボーカルYukiさんのソウル・ヴォイスを中心に、Cotyさんのクールなギター、Yama-uさんの情熱的なパーカッションは満場の会場を包みこむような素敵なライブパフォーマンスでした。集まった募金など50万円がこうちハウスに贈呈されました。



「広告電通賞に入賞!」

7月1日(月)朝日新聞45段広告「一緒にいてあげたい」、そしてCM制作映像「息子のもとへ」が第66回広告電通賞に入賞しました。なごやハウス誘致のために組織された「なごやハウス募金委員会」が新聞広告電通賞、公共部門最優秀賞、広告電通賞特別賞、名古屋地区広告賞、準名古屋地区広告賞の5つの賞を受賞しました。当日は、名古屋大学医学部附属病院の前病院長でなごやハウス募金委員会の発起人である松尾清一先生が受賞式に参加し、立派なトロフィーをいただきました。なおこのCMは財団ホームページ(<http://www.dmhcj.or.jp/>)よりご覧いただけます。



「T-SQUARE伊東たけしさんがせたがやハウスを訪問」

10月2日(水)T-SQUAREの伊東たけしさんがせたがやハウスを訪問しました。この訪問を通して「ハウスが家族にとってどんな場所か、難病と闘う子どもや家族の大変さが分かりました。ホームページやパンフレットを見るだけではわからないことが、ハウスを実際に見ると違いますね。」と話してくれました。伊東たけしさんは「T-SQUARE」35周年記念コンサート内でハウスの様子を話し、コンサート会場内に設置された募金箱には多くの募金が集まりました。



「古田敦也さんがなごやハウスを訪問」

12月4日(水)元プロ野球選手の古田敦也さんが開所式を終えたばかりのなごやハウスを訪問してくれました。開所に向けて準備をしていたボランティアの皆さんに声をかけて、また過去に名大病院でお子さんを亡くされたお母さんと対談をしました。子どもの闘病生活を支える家族の大変さやハウスの必要性に共感してくださいり、なごやハウスに寄付を頂戴し、さらにハウスのことを自身のフェイスブックで広めてくださいました。古田さんの訪問をきっかけに多くの方にハウスを知っていただくことが出来ました。



「岩隈投手、4度目の訪問」

12月23日(月)シアトル・マリナーズで活躍している岩隈久志投手が今年もせんたいハウスを訪問してくれました。楽天時代よりハウスを応援している岩隈投手はクリスマスが近いということで、15名の子ども達と共にクリスマスツリーの飾りつけと点灯式を行いました。「子ども達には大きな夢を持って、すくすくと成長してもらいたいと思っています。また来年も子ども達に会いに来ます。」と語ってくれた岩隈投手に子ども達は大感激の様子でした。

「北澤豪さんが東大ハウスを訪問」

12月6日(金)サッカー元日本代表の北澤豪さんが東大ハウスを訪問しました。ハウスでは長く入院生活を送っている患児とそのお母さんから話を聞くことができ、大変な状況に共感しながら患児を励ましてくれました。ハウスの必要性を理解してくださった北澤さんは、自身が出演されている番組「NEWS ZERO」での訪問の様子を紹介してくれました。

「ヘルシー・ソサエティ賞を受賞!」

3月19日(火)第9回ヘルシー・ソサエティ賞の授賞式がありました。ヘルシー・ソサエティ賞は健やかな社会を築くための個人の素晴らしい努力を表彰するもので日本看護協会そしてジョンソン・エンド・ジョンソングループが共催で行っています。今回はハウスの活動を通じて小児医療へ貢献しボランティア活動を普及させたとして財団の瀬瀬淑子事務局長がボランティア部門(国内)において受賞しました。当日は安倍内閣総理大臣、外務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣から祝辞をいただきました。これまでハウスの活動に協力してくれたボランティアの皆さんに感謝いたします。

「チャリティーパーティー」

10月9日(水)支援企業の皆様を招待したチャリティーパーティーが開催されました。今年も多くの方が参加され、400万円もの寄付が集まりました。今年は初の試みとしてチャリティくじ(ラッフル)を実施しました。1,000円の募金でくじを引くことができ、豪華賞品が当たるかも…ということで多くの方々がラッフルに参加されました。

「第15回 ドナルド マクドナルド ハウス チャリティゴルフ」

12月16日(月)ハウスの支援を目的としたプロアマ チャリティゴルフが戸塚カントリー倶楽部にて開催されました。いつもご支援いただいている深堀圭一郎プロなど著名なプロゴルファーが参加され、大会は年々広がっています。今年は40名ものプロゴルファーを含め、160名の方が参加され、800万円もの寄付を頂戴しました。

オープンハウス開催!!

一人でも多くの方にハウスを見てほしい! 知ってほしい! と各地のハウスにてオープンハウスが開催されました。どのハウスも多くの方々にご来場いただき、全ハウス合わせて3,000人以上の方が来場され、280万円以上の募金が集まりました。

せたがやハウス

11月のオープンハウスにはFC東京の石川直宏選手のサイン会を開催しました。多くの地域のみなさん、子ども達がオープンハウスに来場しました。



こうちハウス

ボランティアが育てているさつきを展示しました。またキッズデーと称して子どもが楽しめるゲームコーナーなどを設け、多くの家族が来場しました。



おおさか・すいたハウス

今年のオープンハウスの目標は「支援」。たくさんの方にハウスをサポートしてもらえるように、支援企業によるチャリティー販売や学生のみなさんと一緒にイベントを盛り上げました。



とちぎハウス

オープンハウスとクリスマス会を同時に開催しました。クリスマスならではのミニコンサートやたくさんのイベントを開催し、支援の輪を広げることができました。



さっぽろハウス

北海道のマクドナルド店舗、地域のみなさんが一体となり、オープンハウスを盛り上げました。どれ一つ欠かすことのできないたくさんの人々の善意のおかげで、目標を超える多くの方が来場しました。



ふちゅうハウス

隣接している都立看護学校の文化祭と同時開催し、ボランティア有志によるチャリティーバザーが行われました。



東大ハウス

東大の5月祭に合わせてオープンハウスを開催しました。パフォーマーによる盛大なショーが行われ、ハウスを知らない多くの方が来場され賑わいました。



●せたがやハウス

7月7日(日)
来場者:514名 募金総額:276,540円
11月17日(日)
来場者:470名 募金総額:613,403円

●こうちハウス

5月20日(金)~6月10日(月)
来場者:282名 募金総額:49,451円

●おおさか・すいたハウス

10月26日(土)
来場者:900名 募金総額:508,833円

●とちぎハウス

12月14日(土)
来場者:100名 募金総額:222,251円

●さっぽろハウス

9月28日(土)
来場者:372名 募金総額:353,540円

●ふちゅうハウス

10月12日(土)
来場者:39名 募金総額:59,850円

●東大ハウス

5月18日(土)、19日(日)
来場者:359名 募金総額:764,256円

Donald McDonald House Fukuoka will open

「ふくおかハウス」まもなくオープン

will open!

ふくおかハウスが国内第10号ハウスとして
まもなく誕生します。



〈完成予想図〉

ふくおかハウス建設募金委員会発足

「ふくおかハウス」建設のための募金委員会が発足しました。福岡商工会議所の末吉紀雄会頭が募金委員代表となり、高島宗一郎福岡市長や福岡市立こども病院・感染症センターの福重淳一郎院長も募金委員として趣旨に賛同していただいている。建設費の半分である2億円を地元で集めることを目的に活動をはじめました。



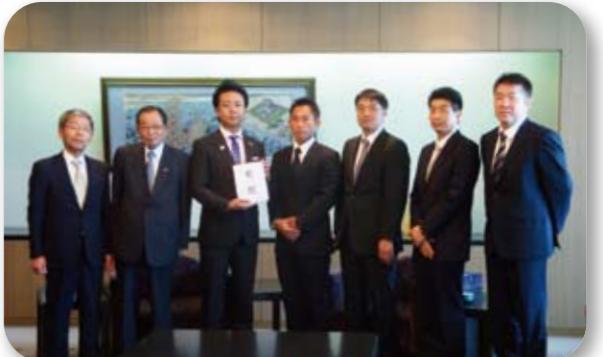
街頭募金活動

ハウス建設に賛同するボランティアの皆様の協力を得て、「博多どんたく港まつり」「天神涼園地」「アジア太平洋フェスティバル福岡2013」など多くのイベント会場で募金の呼びかけを行いました。お揃いのピンクのTシャツ、赤いハッピが目印となり、多くの人々が募金に協力してくれました。



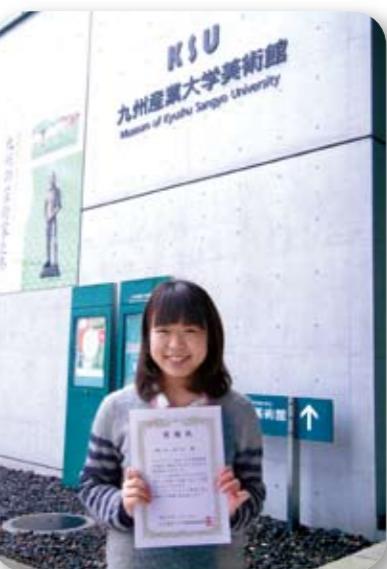
「修ちゃんを救う会」様よりご寄付

「修ちゃんを救う会」は麻生修希くんが、米国で心臓移植を受ける費用を集めるために発足されました。手術は成功し、修希くんは帰国後元気な姿を見せていましたが、残念なことに2013年5月5日わずか4歳で永眠されました。修希くんとご家族は、米国滞在中にドナルド・マクダナルド・ハウスを利用されていたこともあり、病気と闘う子どもとその家族のために未永く貢献できればという修希くんのご家族の意向により、集まった募金の一部をふくおかハウス建設のために寄付してくださいました。



ふくおかハウス建設募金プロジェクト学生作品

九州産業大学芸術学部3年生の鐘ヶ江あいびさんが「ふくおかハウス建設募金プロジェクト学生作品」としてお母さんの支えで重い病気を克服した主人公が、生きていることに感謝し、恩返しをするという内容のPR映像を作成しました。この映像は天神地区街頭ビジョンの4カ所でスポットCMとして放映され、多くの方にハウス建設の必要性を周知しています。



こども病院研究基金記念講演会

福岡市民福祉プラザで開催されました「第31回こども病院研究基金記念講演会」にて「こどもを守り育てる環境を考える」をテーマに講演会が行われました。講演の最後にはふくおかハウスの紹介もあり、多くの方にハウスの必要性を理解していただく場となりました。



ボランティア活動費の助成

難病児およびその家族を支援する福祉、医療分野におけるボランティアへの助成事業を行い、2013年度は9団体に助成をしました。

助成先	助成金額
和歌山県難病の子ども家族会	300,000 円
いのち・笑顔の会「手と手と」	200,000 円
特定非営利活動法人 OnPal	200,000 円
特定非営利活動法人岐阜ダウン症の会 ピュア	200,000 円
特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター	200,000 円
特定非営利活動法人ライフサポートアムリール	200,000 円
編んでるシアター館「童話の国」	168,000 円
全国心臓病の子どもを守る会 京都支部	150,000 円
特定非営利活動法人さりひろば熊本さり会ボランチ	150,000 円
助成総額	1,768,000 円

助成先からの報告



第11回「輝け・病気の子どもたち!リゾートキャンプ」は今年も和歌山マリナシティを会場にして無事に開催することができました。ボランティアや関係者の方々、そして趣旨に賛同して下さった皆様には多大なるご支援をいただき、ありがとうございました。今年は172名のボランティア、23組67名のご家族に参加いただき会場は盛り上がり、あたたかい空気に包まれていました。子ども達向けの室内での遊びイベントやボルトヨーロッパの遊園地に行くなど遊びを満喫しました。父母の皆さんには子どもと離れ、学習会、交流会、親睦会に参加し、心ゆくまで語り合いました。リゾートキャンプに参加した子どもたちは、この2日間、家族やボランティアの皆さんと様々な体験をすることができました。このキャンプで得たものを通して、心豊かに育ってくれることと思います。

和歌山県難病の子ども家族会 森 啓子



古田 敦也

2010年より学童野球大会「マクドナルド・トーナメント」サポーターとして、「仲間と互いに支え合う大切さ」を伝えてきました。そして、昨年「なごやハウス」開設にあたり、このことに改めて気付いてもらえばと、大会で募金活動を呼びかけてきました。施設にもお伺いし、皆さんの熱い想いに触れ、今回の活動の意義を本当に理解できたように思います。スポーツを通じて、球児と一緒にこのような“仲間を支援する”活動に参加できたことに改めて感謝するとともに、もっと多くの笑顔がハウスから元気に巣立って行くことを祈っています。

6
17
2014
JULY



北澤 豪

長い間スポーツをする環境にいたため、「誰かのために、チームのために」という精神がずっと自分の中にはありました。だからスポーツと社会貢献活動には多くの共通点があると感じています。ハウスには多くの企業やボランティアの「病気の子どもと家族のために」という想いが集まっているので、ハウスに滞在する家族はたくさんの優しさに触ることができ、病気の子ども達は病気と闘う勇気をもらっています。このような施設がさらに増えるように、僕はハウスをずっと応援しています。

大
豪
2014
JULY



Kubota Jintarou(楽天イーグルス)

先日は、ドナルド・マクドナルド・ハウス せんだいに滞在している子ども達やご家族と一緒に、有意義な時間を過ごさせてもらいました。いよいよ 2014 年のシーズンがはじまります。昨年は、優勝という大きな成果を残すことができました。チームとしては「連覇」という目標に向かって今年もファンの皆様の声援に応えられるように精一杯頑張ります。そして、病気の子ども達に「感動」「勇気」を与えられるように全力で立ち向かいます。個人的にも良い結果を残し、ハウスに滞在している子ども達と再会したいと思います。共に頑張りましょう!!

Jintarou
Kubota

Messages from Families

家族からのメッセージ

佐々木 望くん ●1歳 長野県 せたがやハウス

「出産後そのままハウスに滞在しました。いつどうなるか分からない不安の中、NICUでずっと子どもを見守ることができました。体力面でも精神面でもぎりぎりで過ごしていましたが、温かい声掛けに心が和み、ハウスに戻るとホッとしました。」



森本 大凱くん ●1歳 徳島県 おおさか・すいたハウス

「ハウスのみなさんのおかげで、明るく子どもを見守ることができました。現在も数か月に一度、ハウスを利用していますがボランティアの方々が覚えてくれているので本当に嬉しいです。利用者の方とも情報交換など仲良く交流ができました。」



武市 昂大くん ●11歳 高知県 おおさか・すいたハウス

「年に一度の定期検診はありますが、元気に通学中です。初めてハウスに滞在した時は、清潔で広く、また静かな環境にホッとしたのを覚えています。」



高橋 音ちゃん ●8歳 香川県 せたがやハウス

「キッチンを自由に使え、空いた時間に洗濯ができたので助かりました。ボランティアさんやご利用者の温かさにも触れ、体を休められただけでなく心も満たすよい時間を過ごせました。」



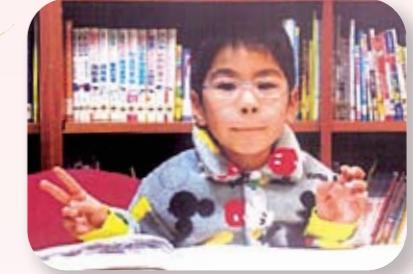
坂上 由梨那ちゃん ●8歳 愛媛県 せたがやハウス

「定期検診のため通院はしていますが、術後から経過が順調で元気に過ごしており、学校も休まないで通学しています。ハウスは管理が行き届いていて、とても快適でした。」



泉館 理人くん ●7歳 岩手県 せたがやハウス

「ちょうどクリスマスの時期にハウスに滞在し、ボランティアの方々からのプレゼントや企業からのケーキや食事の提供があり、とても嬉しかったです。ボランティアの方の優しい言葉かけ、あいさつ、笑顔が忘れられません。」



栗原 彩希ちゃん ●9歳 栃木県 とちぎハウス

「子どものそばにいられることがありがたく、子どもも近くにいると安心するようです。気分も落ち込み気味になるのですが、ボランティアのみなさんに優しく声をかけていただいたら、美味しい食事を作って頂いたりと感謝するばかりです。」



滝浦 凜久くん ●8か月 宮城県 せんだいハウス

「2週間に一度通院していますが、とても元気です。ダイニングやキッチンにお菓子やお米、調味料があり、滞在する人にとってありがたいと思った。地域の方々の協力を得て成り立っているのを感じました。」



宮本 啓汰くん ●2歳 徳島県 おおさか・すいたハウス

「2歳の誕生日を我が家で過ごすことができました。病院から近いので、お昼などはハウスで落ち着いて食事をとることができ、第2の我が家そのものでした。ハウスがあるから今の生活があるとつくづく思いました。」



正味財産増減計算書

一般正味財産増減の部

平成25年1月1日から平成25年12月31日まで (単位:円)			
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(1) 経常収益	①財産運用収入 基本財産運用収入 特定資産運用収入	630,000 630,000 0	4,567,808 4,567,808 △ 3,937,808
	②ハウス事業収入 宿泊料収入 運営補助金収入 その他の収入	50,734,755 39,956,000 7,702,480 3,076,275	49,203,475 36,784,009 9,871,211 2,548,255
	③寄附金収入 寄附金収入 募金収入	326,079,358 179,485,908 146,593,450	346,674,463 182,995,059 163,679,404
	④会費収入	6,117,272	6,175,817
	⑤その他収入 配当金収入 雑収入	1,901,726 450,000 1,451,726	450,000 450,000 0
	経常収益計	385,463,111	407,071,563
			△ 21,608,452
	①事業費 1.ハウス事業運営費 給料手当 光熱水料費 租税公課 減価償却費 その他の経費 事業関連経費	240,480,829 238,682,149 72,292,316 32,130,254 19,989,710 62,930,233 46,323,272 5,016,364	235,104,610 232,907,510 68,900,431 31,467,563 20,532,640 64,049,142 36,292,607 11,665,127
	2.ボランティア事業 ボランティア助成費 旅費交通費 会議費	1,798,680 1,768,000 18,000 12,680	2,197,100 2,150,000 21,000 26,100
	②管理費 給料手当 旅費交通費 会議費 通信運搬費 減価償却費 消耗品費 印刷製本費 催事費 謝金 租税公課 雑費	81,455,783 31,879,908 3,107,154 378,158 28,900 1,534,741 19,807,338 2,503,290 12,270,372 1,181,046 0 8,764,876	53,746,065 10,365,444 2,492,929 688,275 △ 310,117 1,652,244 16,590,036 2,672,250 10,096,479 1,247,100 1,177,900 6,761,618 2,003,258
(2) 経常費用	経常費用計 当期経常増減額	321,936,612 63,526,499	288,850,675 118,220,888
			△ 33,085,937 △ 54,694,389
	(1) 経常外収益	有価証券評価益 経常外収益計	6,030,000 6,030,000
			3,120,000 3,120,000
			2,910,000 2,910,000
(2) 経常外費用	有価証券評価損 指定正味財産への振替額	0 0	0 0
	経常外費用計 当期経常外増減額	0 6,030,000	0 3,120,000
	当期一般正味財産増減額 一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高	69,556,499 2,265,494,742 2,335,051,241	121,340,888 2,144,153,854 2,265,494,742
			△ 51,784,389 121,340,888 69,556,499

指定正味財産増減の部

一般正味財産からの振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	522,680,900	522,680,900	0
指定正味財産期末残高	522,680,900	522,680,900	0
正味財産期末残高	2,857,732,141	2,788,175,642	69,556,499

貸借対照表

平成25年12月31日現在 (単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(1) 流動資産			
現金	2,218,028	2,433,811	△ 215,783
普通預金	48,024,249	54,955,346	△ 6,931,097
郵便貯金	134,059,625	12,080,985	121,978,640
未収金	0	0	0
流動資産合計	184,301,902	69,470,142	114,831,760
資産の部			
基本財産	300,000,000	300,000,000	0
特定資産	ハウス建設積立資金 特定資産合計	0 0	370,000,000 370,000,000
その他の固定資産	建物 構築物 什器備品 ソフトウェア 電話加入権 建設仮勘定 定期預金 投資有価証券	1,698,354,276 9,293,661 17,036,692 2,179,937 76,440 383,629,497 0 40,305,000	1,753,062,804 10,791,377 23,775,150 3,700,209 76,440 441,000 0 34,275,000
固定資産合計	2,150,875,503	1,826,121,980	324,753,523
資産合計	2,673,556,403	2,718,802,880	△ 45,246,477
負債の部			
(1) 流動負債	預り金 流动負債合計	126,164 126,164	97,380 97,380
(2) 固定負債	固定負債合計 負債合計	0 126,164	0 97,380
正味財産の部			
①指定正味財産 (うち基本財産への充当額)	522,680,900 -522,680,900	522,680,900 -522,680,900	0
②一般正味財産 (うち特定資産への充当額)	2,335,051,241 0	2,265,494,742 -370,000,000	69,556,499
正味財産合計	2,857,732,141	2,788,175,642	69,556,499
負債及び正味財産合計	2,857,858,305	2,788,273,022	69,585,283

財産目録

平成25年12月31日現在 (単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(1) 流動資産			
現金預金 現 金	現金手許有 みずほ銀行新宿新都心支店 みずほ銀行成城支店 杜の都信用金庫宮城町支店 四国銀行高須支店 りそな銀行千里北支店 足利銀行自治医大出張所 三井住友銀行麹町支店 北海道銀行新川中央支店 多摩信用金庫西国分寺支店 東京都民銀行春日支店 三菱東京UFJ銀行鶴舞支店	2,218,028 677,372 1,070,759 93,719 51,236 19,515 34,123 44,830,458 241,844 4,459 664 1,000,100 134,059,625	
郵便貯金	流動資産合計		184,301,902
資産の部			
①基本財産 定期預金 土地 基本財産合計	あおぞら銀行本店 東京都世田谷区大蔵	300,000,000 222,680,900 522,680,900	
②特定資産	ハウス建設積立資金 定期預金 ハウス建設積立資金 普通預金	※1 ※1 0 0	
(2) 固定資産	③その他の固定資産	建物 構築物 什器備品 ソフトウェア 電話加入権 建設仮勘定 なごやハウス 投資有価証券	1,698,354,276 9,293,661 17,036,692 2,179,937 76,440 383,629,497 40,305,000 2,150,875,503
	その他の固定資産合計 固定資産合計 資産合計		2,673,556,403 2,857,858,305
負債の部	(1) 流動負債	預り金 流动負債合計 負債合計 正味財産	126,164 126,164 126,164 2,857,732,141

※1… 公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している。 ※2… 公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に供している。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
その他の有価証券…決算日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は総平均法により算定)によっている
- (2) 固定資産の減価償却について
建物、構築物、什器備品及びソフトウェア…定額法によっている
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
● 基本財産 土地 定期預金	222,680,900 300,000,000	0 0		222,680,900 300,000,000
小 計	522,680,900	0		522,680,900
● 特定資産 ハウス建設積立資金	370,000,000	0	370,000,000	0
小 計	370,000,000	0	370,000,000	0
合 計	892,680,900	0	370,000,000	522,680,900

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対応する額
● 基本財産 土地 定期預金	222,680,900 300,000,000	-222,680,900 -300,000,000	0 0	0 0
小 計	522,680,900	-522,680,900	0	0
● 特定資産 ハウス建設積立資金	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	522,680,900	-522,680,900	0	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額
建 物	2,126,594,746	428,240,470
構 築 物	21,420,122	12,126,461
什 器 備 品	85,251,897	68,215,205
ソ フ ト ウ ェ ア	12,552,440	10,372,503
合 計	2,245,819,205	518,954,639

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

名称ならびに交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
● 基本財産 運営補助金(自治医大) 運営補助金(吹田市) 運営補助金(コウジンカイ)	0 0 0	3,048,500 2,653,980 2,000,000	3,048,500 2,653,980 2,000,000	0 0 0
合 計	0	7,702,480	7,702,480	0



役 職	氏 名	所 属
理 事 長	柳澤 正義	独立行政法人国立成育医療研究センター 名誉総長
専 務 理 事	廣瀬 修	社会福祉法人恩賜財団済生会 評議員
常 務 理 事	河野辺 孝則	常勤
理 事	大野 晃 村上 陽一郎 鶴橋 誠一 有村 治子 ティム・ブレット 炭谷 茂 小関 誠 安田 智彦 五十嵐 隆 青木 岳彦	森永乳業株式会社 代表取締役会長 学校法人東洋英和女学院大学 学長 スターゼン株式会社 代表取締役会長 参議院議員 日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長 社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長(元環境事務次官) AIU損害保険株式会社 代表取締役社長兼CEO フジパングループ本社株式会社 代表取締役会長兼社長 独立行政法人国立成育医療研究センター 理事長・総長／日本小児科学会 会長 日本マクドナルド株式会社 人事・コーポレートリレーション担当 上席執行役員
監 事	二村 隆章 吉野 賢治	公認会計士 公認会計士
評 議 員	西村 由美子 残間 里江子 ジェフリー・マクニール 宮田 佳代子 後藤 亘 大熊 由紀子 南 砂 桃井 真里子 佐藤 仁志 好本 一郎 門脇 孝	オガストネットワークインク 代表 プロデューサー Market Makers Inc. 代表取締役社長 フリーキャスター 株式会社エフエム東京 名誉相談役 国際医療福祉大学大学院 教授 読売新聞東京本社 編集委員 国際医療福祉大学 副学長 日本マクドナルドホールディングス株式会社 代表取締役上席執行役員 シミックホールディングス株式会社 取締役 常務執行役員 経営企画本部長 東京大学医学部附属病院 病院長／日本糖尿病学会 理事長
選 考 委 員	丸木 一成 堀口 雅子 栗山 真理子 阪井 祐一	国際医療福祉大学 常務理事 虎の門病院産婦人科 元医長 NPOアレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」専務理事 独立行政法人国立成育医療研修センター 総合診療部長

(2014年4月現在)

Supporters

サポーター紹介

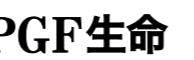
Gold Sponsor



Silver Sponsor



Cargill Meats (Thailand) Limited

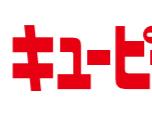


アクアクララレモンガス
グループ

イーピーエスディーリングリソーシスジャパン
株式会社



株式会社オカダ



学校法人
自治医科大学

ジボダン ジャパン
株式会社



株式会社匠



東京大学
医学教育研究診療支援
一般財団法人好仁会



株式会社ドリーム
名古屋東南ロータリークラブ



株式会社ノモト



有限会社ベルエキップ

株式会社豊昇



睦化学工業株式会社



医療法人安間眼科

株式会社遊

渡辺直樹君記念
平成8年名大医卒一同

Bronze Sponsor

AQロジスティクス株式会社
CAIO TERRA
Husi Food CO.,LTD
Shanghai Husi Food CO.,LTD
Lopez Foods, Inc.
NPO法人ミーネット
Smile Heart
THAI DELMAR CO.,LTD
UCC上島珈琲株式会社
愛知県医師会交響楽団
株式会社アグレッシブスタッフ
株式会社アムズ
株式会社アメリカ
株式会社アルゴ
有限会社アルファイン
イセツ株式会社
株式会社ウエル企画
株式会社エムアンドエイチ
おかべこどもクリニック
香長ロータリークラブ
株式会社釜屋
有限会社キノシタ
グランディハウス株式会社
コヴィディエングループジャパン
恒大産業株式会社
一般財団法人高知県職員互助会
コカ・コーラウエスト株式会社
株式会社小松崎
ザ・パック株式会社
相模屋食料株式会社
株式会社ジェイアール
自治医科大学移植外科
自治医科大学附属病院看護部職員一同
下野市
梶山女学園大学附属小学校
株式会社スペースエム
株式会社仙台にしむら
ソニーPCL株式会社
大学職業指導研究会第二分科会
大昭和紙工産業株式会社
大同印刷株式会社
大東港運株式会社
有限会社タイメイコーポレーション
株式会社タカコーポレーション
タビーコーポレーション株式会社
株式会社TRMジャパン
有限会社ティームエー
株式会社ディーティーム
ディーンモルガン株式会社
株式会社電通
東京コカ・コーラボトリング株式会社
合名会社徳永商店
都市クリエイト株式会社
栃木県軽自動車協会
栃木県県職員一同
どちらハウスを支える会
一般社団法人内外情勢調査会
日世株式会社
株式会社日本栄養給食協会
第14回日本救急看護学科学術集会
日本マッケイン・フーズ株式会社
株式会社ニュートラル
株式会社布屋
株式会社ハーベスト
ハイアットリージェンシー東京
パナソニックシステムネットワークス株式会社
株式会社はまだ
BNPパリバ銀行
ヒロフーズ株式会社
フォンテラブランド株式会社
福岡大同青果株式会社
株式会社フジカワ

医療法人社団藤巻耳鼻咽喉科医院
フライングフィッシュサービス株式会社
ホシザキチャリティクラブ
2013年度北海道フランチャイジードナルドハウス チャリティーゴルフ大会
有限会社ホット・ショット
有限会社マイルス
横の会
マクドナルド中部ブロックオーナー会
マクドナルドハウス・クリエーチュアルチーム
株式会社マルマサフード
株式会社宮崎
株式会社明治
株式会社メディチュア
メロディアン株式会社
株式会社吉田労務コンサルティング
読売巨人軍
読売新聞西部本社
リフレッシュ
両毛ヤクルト販売株式会社

Bronze Sponsor(個人)

David and Barbara Murphy
青木 岳彦
東 貞光
市川 潤也
伊藤 実
伊藤 みゆき
稻垣 克巳
岩井 英隆
鶴橋 誠一
梅田 淳
大嶋 寛
奥村 久雄
織田 武生
鹿児嶋 明
上條 隆司
亀山 真実
川上 あづさ
川田 潤一
河本 央
菊地 和代
北田 善保
倉田 外茂男・美智子
小泉 清則・雅子
古賀 正人
小塙 拓
小山 憲郎
齋藤 修
齋藤 孝子
坂井 香織
佐々 さつき
佐々木 琢磨
佐多 保彦
佐藤 俊夫・順子
佐藤 仁志
眞田 幸弘
島田 浩三
島田 泰行
島津 達雄
次良丸 誠
杉原 彩可
杉本 亨
鈴木 恵美子
鈴木 英夫
角 鶴子
閔谷 敦史
瀬名 秀明
園田 次男・恵美子・睦美
滝 紀子
田口 明日香・晋平・玲子
竹内 久雄
竹内 彰彦
竹田 浩二

(50音順)



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

〒163-1339 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー39階

TEL:03-6911-6068 FAX:03-6911-6198

www.dmhcj.or.jp